

# 食形態や食べ方に配慮の必要な方へ

氏名 \_\_\_\_\_ 様

食べる機能や飲み込む機能(摂食嚥下機能)が低下しています。誤嚥性肺炎や窒息の予防のために、退院後の食事は下記のことを参考にしてください。

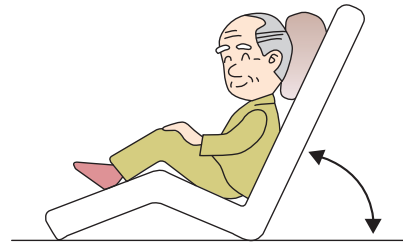
◆ 病院の食事形態

	当院における食事の名称・とろみ	対応する学会分類 2013
主食	名称	コード 0j・0t・1j・ 2-1・2-2・3・4
副食	名称	コード 0j・0t・1j・ 2-1・2-2・3・4
水分	使用したとろみ剤 商品名	・薄いとろみ ・中間のとろみ ・濃いとろみ

「学会分類2013」とは、日本摂食嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食学会分類2013の略称です。

病院で使用した嚥下調整食 \_\_\_\_\_ なし・あり(商品名)

◆ 食事の際の姿勢



◆ その他

- \* 摂食嚥下機能は、健康状態や加齢によって変化します。むせや発熱、体重の変化などが見られたら、医師、歯科医師による機能評価を受けることが必要です。摂食嚥下機能評価の相談ができる医師、歯科医師に心当たりがない場合は、お住まいの市にご相談ください。(裏面参照)
- \* 上記の内容は、ケアマネジャーや地域包括支援センターなどと共有してください。

記入日	年	月	日
記入者			

## ◆ 誤嚥性肺炎の予防には、歯や口の清掃が大切です。

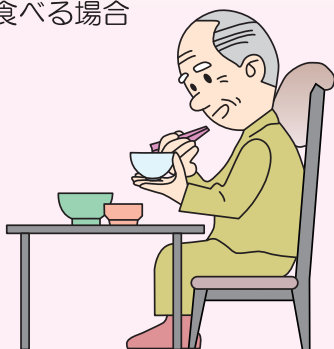
歯ブラシだけでなく歯間ブラシなどの補助用具も活用しましょう。

舌は、舌ブラシや軟らかい歯ブラシで、義歯は、食後にはずしてきれいに清掃しましょう。

定期的にかかりつけ歯科医に診てもらいと安心です。

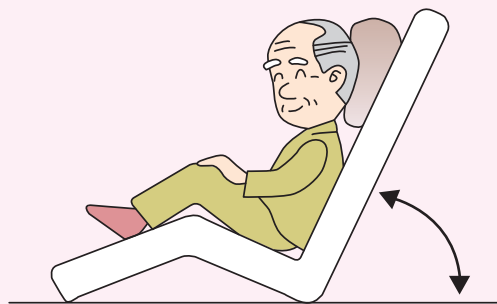
## ◆ 食事姿勢

いすに座って食べる場合



背もたれに深く座り、かかとを床にしっかりとつけてください

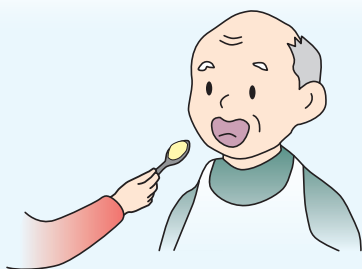
いすに座ることが困難な場合



上半身を起こし、頭の下にまくらなどを入れて前屈する姿勢にします

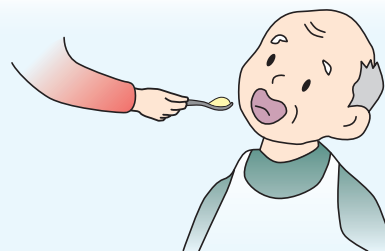
## ◆ 介助方法

良い介助



前からスプーンを下くちびるの上ののせます。

悪い介助



上からスプーンを口に入れるとあごが上がり誤嚥の危険があります。

## 摂食嚥下に不安があるときに、お住まいの市の相談先

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| ❖ 八王子市在宅医療相談窓口  | ☎ 042-622-1239    |
| ❖ 町田市保健総務課保健医療係 | ☎ 042-722-6728    |
| ❖ 日野市健康課        | ☎ 042-581-4111    |
| ❖ 多摩市健康推進課      | ☎ 042-376-9111    |
| ❖ 稲城市高齢福祉課地域支援係 | ☎ 042-378-2111(代) |

< 問い合わせ先 >

東京都南多摩保健所 企画調整課保健医療担当 ☎ 042-371-7661